

まえがき

令和7年中の本道の交通事故発生状況は、

発生件数 8,475件 (前年比 -268件)
死者数 129人 (前年比 +25人)
負傷者数 9,827人 (前年比 -470人) でした。

死者は前年より25人増加し129人となり、全国ワースト3位に(ワースト1位の神奈川とは10人差)。

死亡事故の特徴

- 事故類型別では、車両単独事故の死者数が43人と最も多い(前年比+14)。
- 地域別・道路形状別では、非市街地の単路その他で52人(前年比+6)と多く、次いで市街地の単路その他の事故が32人(前年比+14)。
- 発生時間別では、8時~10時が18人(前年比+4)で最も多い。
- 第一当事者の年齢層別では、65歳以上の高齢者が43人(前年比+5)と最も多く、全体の33.3%を占めている。
- 第一当事者(第一当事者に自転車を含む)の違反別では、前方不注意が46人(前年比+8)と最も多く、次いでハンドブレーキ操作不適が続いている。
- 死者全体の55%を占める71人(前年比+11)が65歳以上の高齢者で、そのうち歩行中が25人、自動車乗車中(二輪を除く)が35人となっている。
- 自動車乗車中(二輪を除く)の死者63人中、25人(39.7%)がシートベルト非着用で、そのうち18人(72.0%)は、シートベルトを着用していれば助かった可能性が高いと思われる。

交通事故の発生実態を的確に把握し、より効果的な交通事故防止対策を推進するうえで、この小冊子が役立つことを願っています。

も く じ

都道府県別交通事故死者数	1	12 地域別・道路形状別事故発生状況	16
1 交通事故発生状況の年別推移	2	13 第一当事者の車種別事故発生状況	17
2 月別・年別交通事故死者数	3	14 第一当事者の職業別事故発生状況	18
3 死亡事故の特徴(全国対比)	4	15 第一当事者の違反別事故発生状況	19
4 交通事故死者にかかわる都道府県別ワースト順位	5	16 第一当事者の年齢層別事故発生状況	20
5 地区交通安全協会別(警察署別)人身事故発生状況	8	17 25歳未満のドライバーの事故発生状況	21
6 市町村別人身事故発生状況	9	18 25~64歳のドライバーの事故発生状況	22
7 状態別死者・傷者の状況	12	19 65歳以上のドライバーの事故発生状況	23
8 類型別事故発生状況	13	20 歩行者・自転車利用者の交通事故死傷者の状況	24
9 月別事故発生状況	14	21 二輪車(原付を含む)運転中の事故発生状況	27
10 時間別事故発生状況	14	22 交通死亡事故とシートベルト着用状況	28
11 道路別事故発生状況	15	令和8年における交通安全運動の推進方針(概要)	